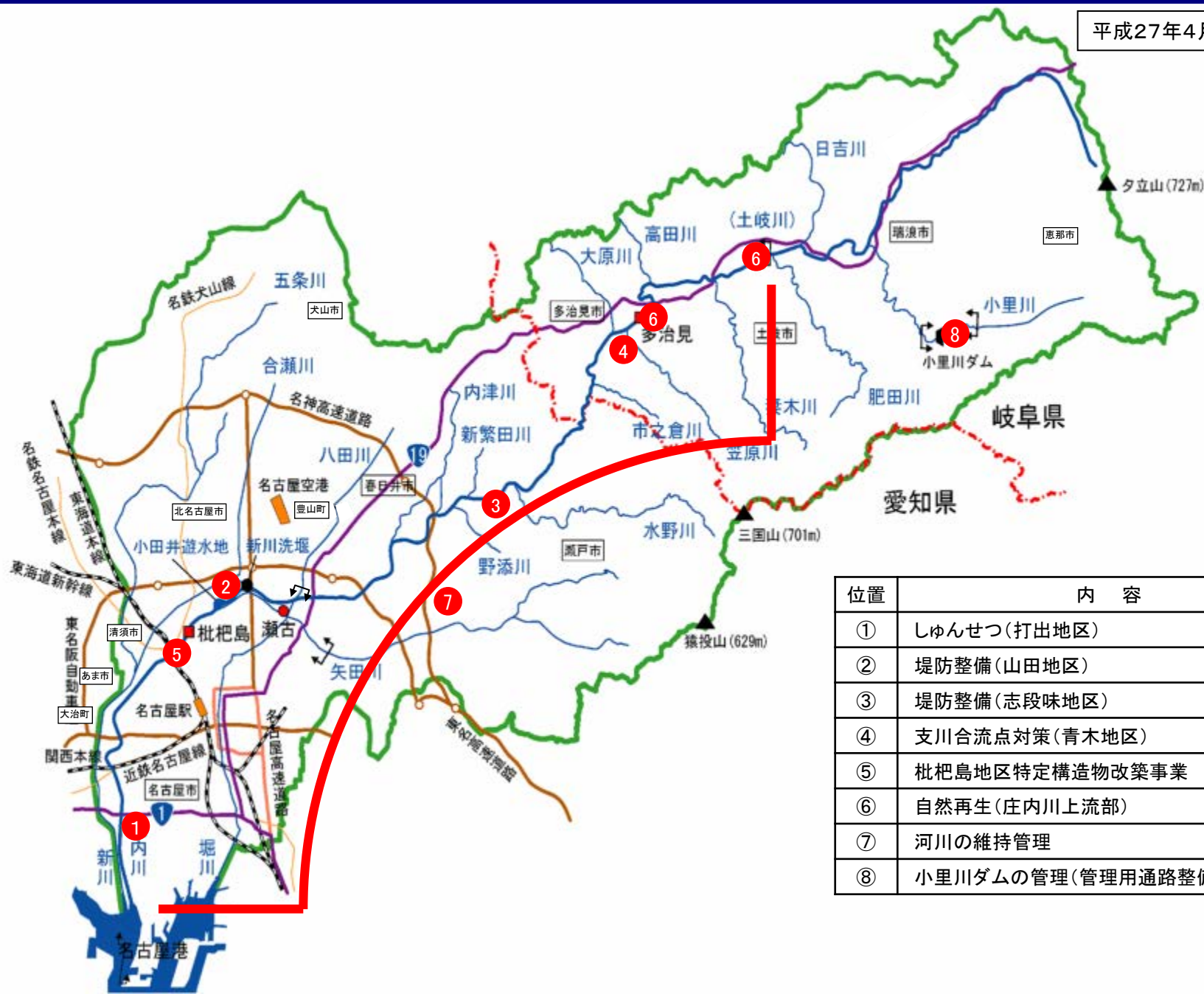


# 平成27年度 庄内川河川事務所 事業概要

平成27年4月10日時点

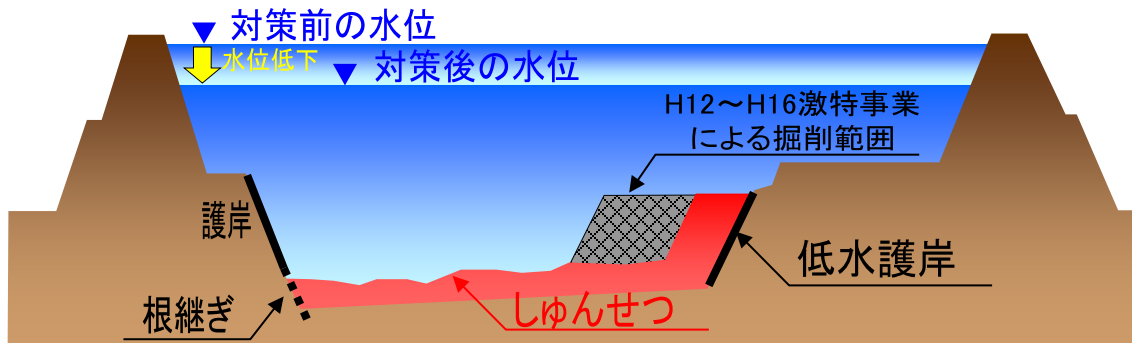
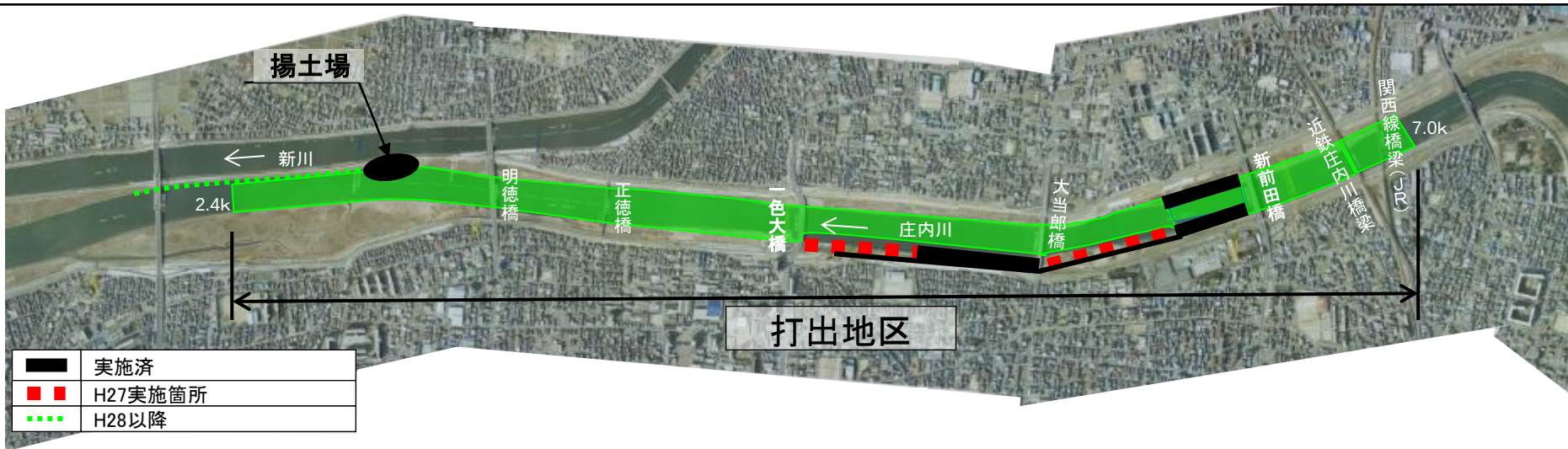


| 位置 | 内 容               |
|----|-------------------|
| ①  | しゅんせつ(打出地区)       |
| ②  | 堤防整備(山田地区)        |
| ③  | 堤防整備(志段味地区)       |
| ④  | 支川合流点对策(青木地区)     |
| ⑤  | 枇杷島地区特定構造物改築事業    |
| ⑥  | 自然再生(庄内川上流部)      |
| ⑦  | 河川の維持管理           |
| ⑧  | 小里川ダムの管理(管理用通路整備) |

# ① しゅんせつ<sup>うちで</sup>(打出地区)

平成12年9月の東海豪雨を受け、河川激甚災害対策特別緊急事業(H12～16)により緊急的に河道のしゅんせつを実施した。それに加え、より安全に洪水を流下させるため、河道断面が不足している区間(打出地区)について、平成25年度よりしゅんせつを実施している。

平成27年度は、一色大橋<sup>いっしきおおはし</sup>～新前田橋<sup>しんまえだばし</sup>区間において、しゅんせつ及びしゅんせつに伴い必要となる低水護岸工事を実施する。



しゅんせつのイメージ



しゅんせつの施工イメージ



## ②堤防整備(山田地区)

やまだ

平成12年9月に発生した東海豪雨と同規模の洪水を安全に流下させるため、堤防高さ及び断面が不足している区間の山田地区について、堤防整備を継続する。

平成27年度は、堤防整備のための用地買収を継続実施する。



※ 今後の検討により、実施箇所が変更となる場合があります。

### 堤防整備事例

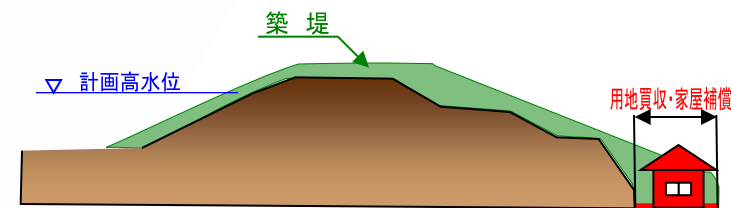


整備前

完成

改修事業(西枇杷島地区)

平成23年度 庄内川西枇杷島築堤護岸工事(平成25年3月完成、堤防を嵩上げ)



堤防整備のイメージ

### ③堤防整備(志段味地区)

平成23年9月出水以降、緊急的に堤防整備が進めており、堤防高が不足となっている。  
平成27年度は、堤防整備を実施し、本地区の整備を完了させる。

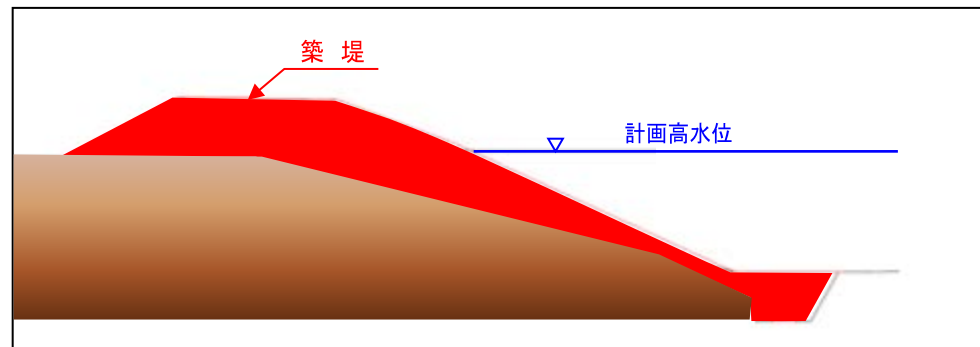


堤防整備事例

※ 今後の検討により、工事区間が変更となる場合があります。



平成24年度 庄内川大留護岸工事(平成25年6月完成)



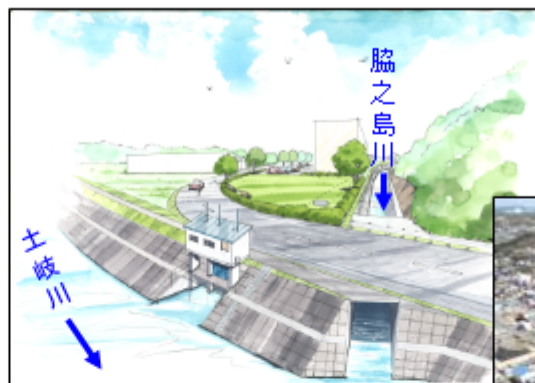
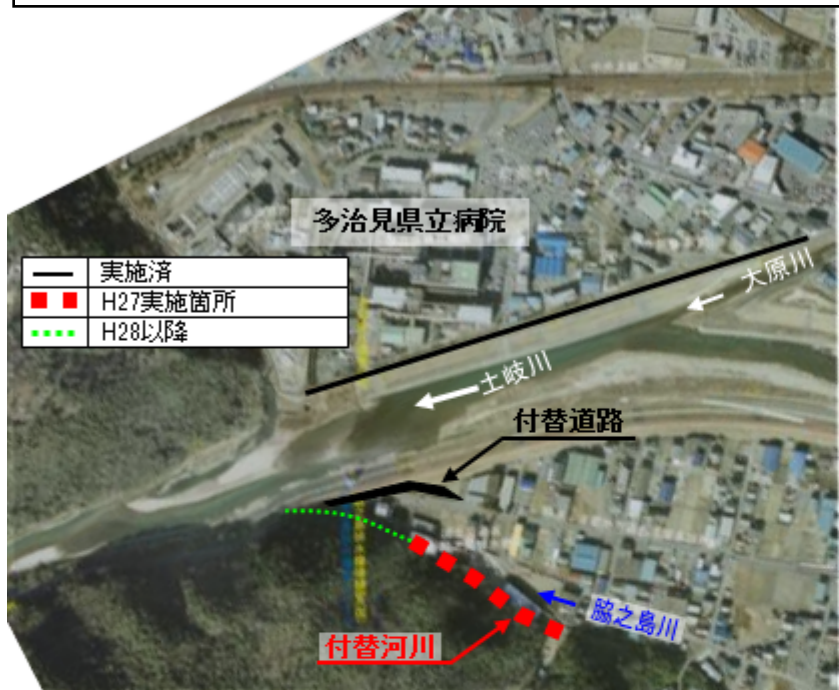
堤防整備のイメージ



# ④ 支川合流点对策(青木地区)

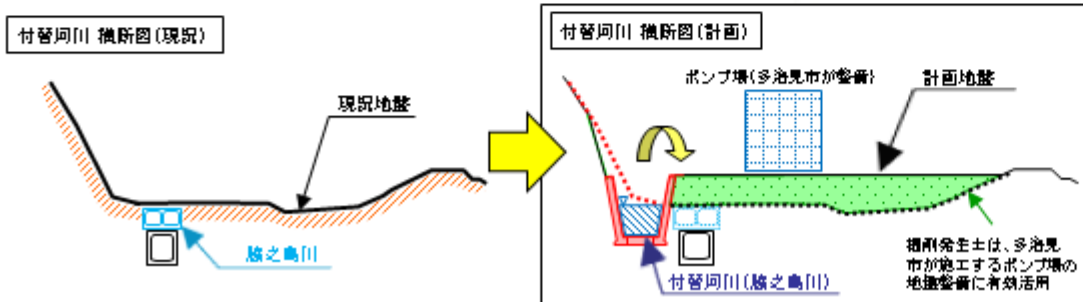
多治見市街地に位置する豊岡及び青木地区は、平成23年9月の台風15号により甚大な浸水被害が発生した。青木地区においては、浸水被害を軽減させるために、平成24年7月に策定された多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等浸水対策実行計画を踏まえ、平成29年度完成を目標に、支川<sup>わきのしま</sup>脇之島川の合流点对策を平成25年度から緊急的に実施している。

平成27年度は、脇之島川の付替河川工事を実施する。



支川合流点の整備イメージ

青木地区左岸



平成23年9月洪水 築堤整備箇所周辺の浸水被害状況

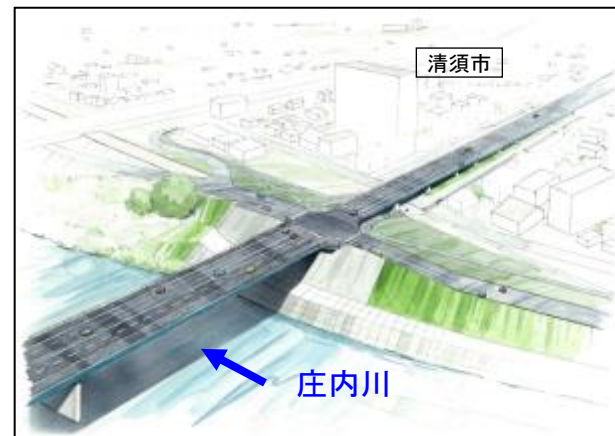
# びわく ⑤ 枇杷島地区特定構造物改築事業

枇杷島地区は、庄内川の狭窄部であるとともに、県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔がせまい橋梁が横架しているため、洪水の流下に大きな支障をきたしている。洪水を安全に流下させるためには、堤防整備（引堤）及び橋梁架替えによる河道断面の確保が必要である。

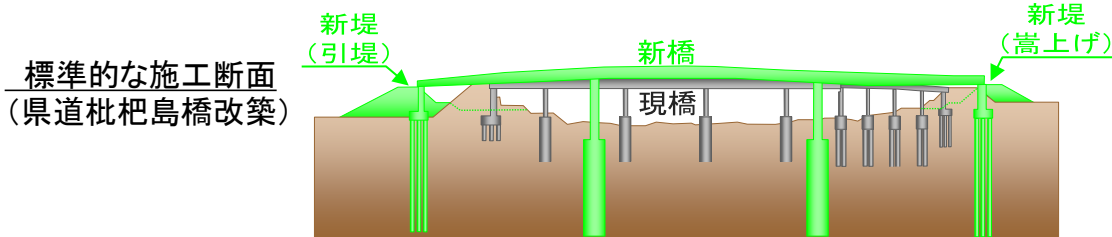
平成27年度は、左岸側堤防整備を継続実施する。



架替事業の整備イメージ



東海豪雨時の出水状況（県道枇杷島橋）





## ⑥自然再生(ときがわ土岐川地区)

洪水時の攪乱頻度減少による河岸の陸域化などにより、河原固有の動植物を育んでいた浅瀬が減少し、そこを生息の場としていた生物の生息環境が悪化している。

そこで、平成27年度は土岐川の本風景であり、生物とのふれあいの場であるレキ河原の再生を多治見市内(事業箇所①)及び土岐市内(事業箇所②)で実施する。

事業箇所①(多治見市)



事業箇所②(土岐市)



【レキ河原再生イメージ】



【再生事例(多治見市 国長橋下流)】



【再生前】

【再生後】



# ⑦河川の維持管理

災害から国民の生命・財産・社会経済活動を守るためには、大規模災害時の危機管理だけでなく、災害を未然に防ぐ予防対策が不可欠。このため、日常的に河川及び河川管理施設の巡視・点検、維持管理を行い、堤防、ポンプ等の河川管理施設の状態を常に良好な状態に保全する。



河川巡視(状況把握・施設点検)



ポンプ設備の点検



CCTVの更新



堤防除草



御幸排水樋門(現況)



御幸排水樋門の上屋及び電動化(完成予想図)

地震等の災害時に迅速な現場状況の把握のために、河川を上空から見た際の位置を特定するためのマークとして対空標示(ヘリサイン)を設置。



庄内川 左岸(5k~15k)





# ⑦河川の維持管理

庄内川河川事務所では、庄内川の映像等の防災情報を市町・ケーブルテレビ会社に順次提供している。  
自治体において、迅速な水防活動・避難判断等が可能となる。（自治体職員との勉強会も開催）  
CATVを通じて、一般の方がリアルタイム映像を入手することで、より迅速な避難行動等に寄与する。

| 行政機関名           | 協定等<br>締結状況 | 接続状況 | 行政機関名           | 協定等<br>締結状況 | 接続状況 |
|-----------------|-------------|------|-----------------|-------------|------|
| 愛知県<br>尾張建設事務所  | H17.6       | 接続済  | 瀬戸市             | 未           | 未接続  |
| 名古屋市            | H18.4       | 接続済  | 豊山町             | 未           | 未接続  |
| 北名古屋市           | H27.1       | 接続済  | 岐阜県<br>多治見土木事務所 | H27.3       | 接続済  |
| 春日井市            | H26.1       | 接続済  | 多治見市            | H27.3       | 接続済  |
| 清須市             | H26.5       | 接続済  | 土岐市             | H27.3       | 接続済  |
| あま市             | 未           | 未接続  | 瑞浪市             | H26.1       | 接続済  |
| 大治町             | H27.3       | 接続済  | 恵那市             | H27.3       | 接続済  |
| 全体14 接続済11 未接続3 |             |      |                 |             |      |

|             |                           |                   |
|-------------|---------------------------|-------------------|
| グリーンシティ     | 名古屋市守山区、瀬戸市               | 締結済<br>2014.01.17 |
| クローバーTV     | 清須市、大治町、愛西市、弥富市、あま市等      | 締結済<br>2014.05.29 |
| スターキャット     | 名古屋市、北名古屋市、豊山町、清須市（旧枇杷島町） | 締結済<br>2014.01.17 |
| おりべネットワーク   | 多治見市、土岐市、瑞浪市              | 締結済<br>2015.03.23 |
| CCNet       | 春日井市等                     | 未                 |
| アミックスコム     | 恵那市                       | 締結<br>2015.3.11   |
| 名古屋ケーブルビジョン | 302号、22号等の難視聴地区補償         | 未                 |
|             |                           |                   |
|             |                           |                   |

庄内川河川カメラ映像イメージ（2011年9月20日台風15号）



庄内川事務所カメラ  
（名古屋市北区）



洗堰カメラ  
（名古屋市北区・西区）

※HPでは10分間隔の静止画。  
※光ケーブル接続により、リアルタイム動画で閲覧可能



各市町村での映像監視風景  
（清須市役所）

## ⑧ おりがわ小里川ダムの管理

小里川ダム(岐阜県恵那市山岡町田代地先及び陶町地先)<sup>すえちよう</sup>は、洪水調節、河川環境の保全等のための流量確保及び発電を目的とした多目的ダムである。ダムを適切な状態で運用するため、365日24時間体制で保守点検、監視を実施している。

平成27年度は、通常のダムの管理に加え、貯水池の法面崩壊対策及び法面崩壊対策に必要となる管理用通路の整備を継続する。

### 【小里川ダム】



### 【堤体一般開放及びダム見学】



- ・ダムの構造や役割について理解して頂くため、堤体内部を一般に開放。(土日、祝祭日含む)
- ・普段見られない操作室やダムのゲートなどが見学できる見学会などを開催

### 【管理用通路整備】貯水池法面の崩壊対策





# 平成27年度 庄内川河川事務所 関係予算

## 平成27年度事業費

(単位：千円)

| 科目         | 費目                        | H26年度事業費  | H26年度<br>補正予算 | H27年度事業費                 | 対前年比           | H27関連事業 |
|------------|---------------------------|-----------|---------------|--------------------------|----------------|---------|
| 河川整備事業費    | 河川改修費                     | 3,673,000 | 460,000       | (3,880,000)<br>3,420,000 | (1.06)<br>0.93 |         |
|            | 一般河川改修<br>(河川都市基盤整備事業費含む) | 3,392,000 | 460,000       | (3,699,000)<br>3,239,000 | (1.09)<br>0.95 | ①、②、③、④ |
|            | 特定構造物改築事業<br>(枇杷島地区)      | 281,000   | —             | (181,000)<br>181,000     | (0.64)<br>0.64 | ⑤       |
|            | 河川維持修繕費                   | 621,791   | 25,200        | (668,700)<br>643,500     | (1.08)<br>1.03 | ⑦       |
|            | 河川工作物関連応急対策事業費            | —         | —             | (25,150)<br>25,150       | —<br>—         | ⑦       |
|            | 堰堤維持費                     | 440,005   | —             | (461,464)<br>461,464     | —<br>1.05      | ⑧       |
|            | 小計                        | 4,734,796 | 485,200       | (5,035,314)<br>4,550,114 | (1.06)<br>0.96 |         |
| 都市水環境整備事業費 | 総合水系環境整備事業費               | 69,000    | —             | —<br>89,700              | —<br>1.30      | ⑥       |
|            | 小計                        | 69,000    |               | 89,700                   | 1.30           |         |
| 合計         |                           | 4,803,796 | 485,200       | (5,035,314)<br>4,639,814 | (1.05)<br>0.97 |         |

※金額は、事業費ベース(業務取扱費を除く)

※平成27年度の上段( )書きは、平成26年度補正含む

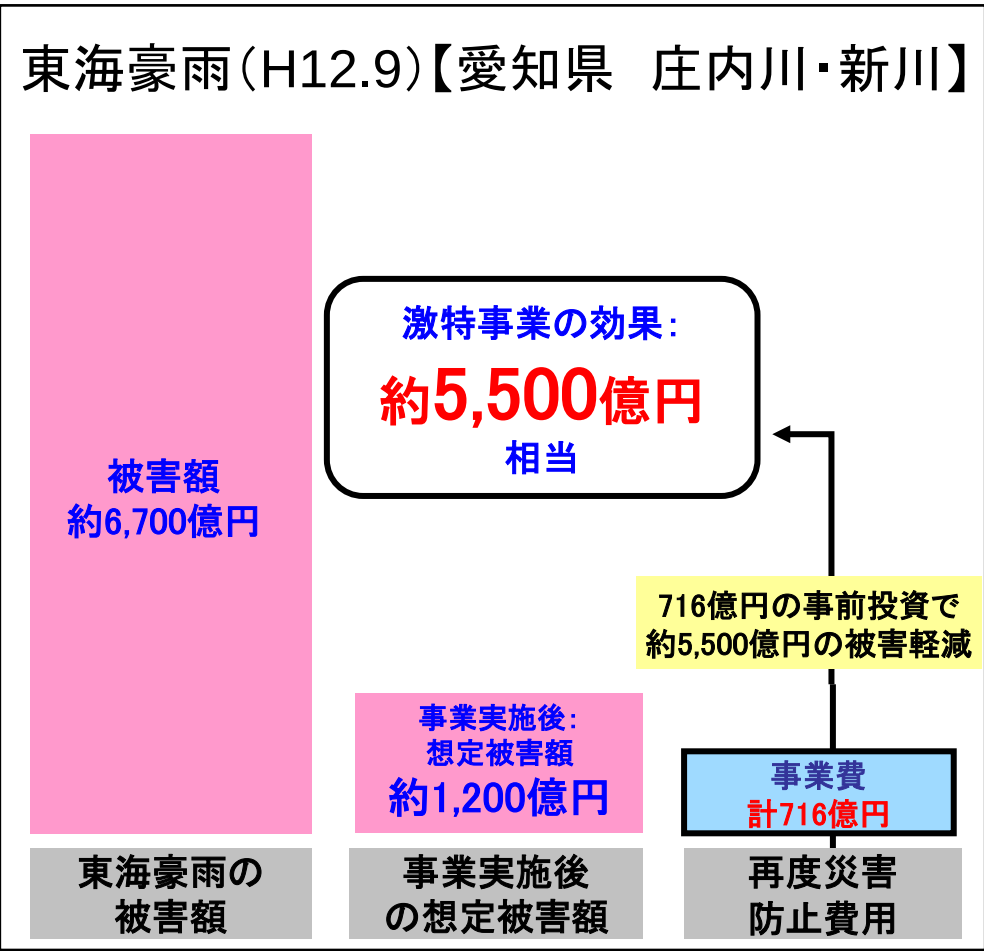




# ストック効果事例①(河川改修による被害軽減: 予防的治水)



平成12年の東海豪雨では、約6,700億円の被害が発生した。  
平成12年から平成16年度にかけて河川激甚災害対策特別緊急事業を実施した。  
仮に東海豪雨以前に、同事業を実施していた場合、約5,500億円の被害が軽減出来たと想定される。



# ストック効果事例②(経済波及被害の防止:予防的治水)

平成12年の東海豪雨では、トヨタを中心に自動車産業において、サプライチェーンの寸断による経済波及被害が発生した。  
平成12年度から平成16年度にかけて河川激甚災害対策特別緊急事業を実施し、東海豪雨と同様の降雨が発生した場合、同様の経済波及被害を防止することが可能となる。



表: 東海豪雨における波及被害事例



東海豪雨時の国道1号

東海豪雨時には、愛知県内の浸水による工場停止の経済波及被害に加えて、交通途絶による経済波及被害も発生

| 企業名                      | 被害概要                                                              |
|--------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| トヨタ自動車(株)本社<br>(愛知県豊田市)  | 全国で24工場(関連会社9社含む)で生産停止し、完成車ベースで約17,000台の生産先送り<br>(日経新聞H12.9.13朝刊) |
| ダイハツ工業(株)本社<br>(大阪府池田市)  | 池田工場、京都工場、滋賀工場でトヨタグループからの部品供給が途絶えたため、操業停止<br>(岐阜新聞H12.9.13朝刊)     |
| アイシン軽金属(株)<br>(富山県新湊市)   | 12日早朝に現地に到着するはずのトラック便が愛知県に入らず、立ち往生。12日は操業を停止<br>(北国新聞H12.9.14朝刊)  |
| トヨタ自動車九州(株)<br>(福岡県宮田町)  | 東海地方の物流が停止し、12日午後3時から始める予定であった夜間帯の生産ラインを停止<br>(北国新聞H12.9.14朝刊)    |
| マツダ(株)本社<br>(広島県府中町)     | 東海理化西枇杷島工場の操業停止で、四国地方2工場の生産を一時停止<br>(中日新聞H12.9.15朝刊)              |
| 富士重工業(株)矢島工場<br>(群馬県太田市) | 名古屋地区からの部品納入が滞り、14日、15日の操業を停止<br>(日経新聞H12.9.18朝刊)                 |

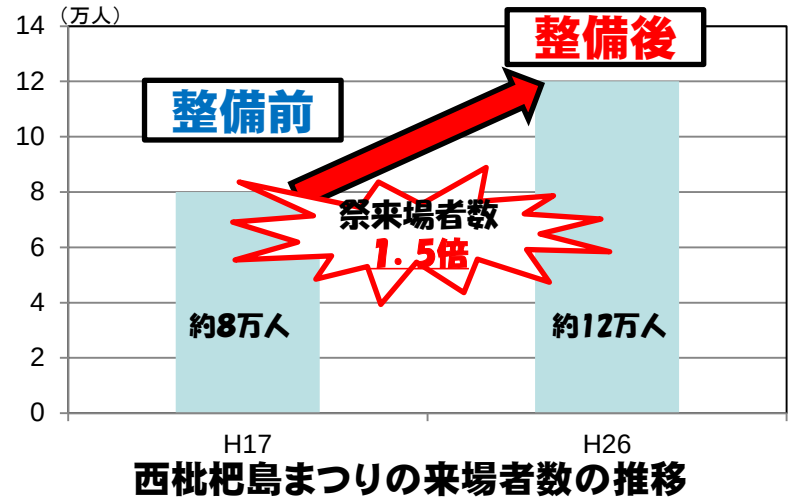


# ストック効果事例③(防災拠点の活用による観光客の増加)

庄内川水防センター(みずとぴあ庄内)を、東海豪雨を契機に、庄内川における防災拠点として、平成18年4月に整備した。  
緊急時の防災拠点としてだけでなく、平常時に清須市が、<sup>にしびわじま</sup>西枇杷島まつりの花火会場として用し、来場者は、整備前約8万人から整備後約12万人に増加した。



＜清須市都市計画課＞  
堤防整備により観覧可能な場所が広がったことが来場者数の増加につながった。



# ストック効果事例④(河川改修に伴う患者の憩いの空間の創出)

とき  
土岐川堤防整備に合わせて、隣接する多治見市民病院がリハビリ施設へアクセスできる連絡橋を設置した。  
入院患者等がリハビリや気分転換を兼ねて、堤防や川面の移動に活用されている。



(古川多治見市長コメント)  
川を見れば、病気が早く治る。ぜひ患者の皆さんには、外に出て、川面を見ていただきたい。



# ストック効果事例⑤(ダムの観光ポテンシャルを活用した道の駅整備効果)

平成16年に完成した小里川ダムと同時にダム湖畔に整備された道の駅「おばあちゃん市・山岡」は恵那市の玄関口として観光交流拠点となっている。  
おばあちゃん市・山岡は恵那峡などの全国的に有名な観光資源のある恵那市内において、施設の観光入込客数第2位！恵那市の人口の約10倍の来客を誇っている。  
人口減、高齢化する地域において、地元こだわった運営を実施し、地域の高齢者の雇用を創出し、また生産者に活力を与えている。



恵那市の人口  
の約10倍！

## ◆恵那市観光入込客数 BEST3

|    |                |           |
|----|----------------|-----------|
| 一位 | 道の駅そばの郷らっせいみさと | 669, 977人 |
| 二位 | 道の駅おばあちゃん市・山岡  | 545, 113人 |
| 三位 | 恵那峡            | 497, 749人 |

「小里川ダムの完成と合わせて道の駅が整備され、道の駅では地元の人やモノにこだわり、高齢者の活性化・農業の活性化、経験を生かした特産品開発を目指しています。ダムと道の駅の相乗効果で地域が活性化しています！」(道の駅駅長談)



小里川ダムと巨大水車が  
目印の道の駅

全員が地元在住！  
従業員は50名  
生産者は450名以上！  
(旧山岡町人口約4,500人)